

事務事業評価シート(事前評価)

事業コード 09-02-02	事務事業名 交差点の見通し改良事業	所管部課 都市整備部 道路建設課
-------------------	----------------------	------------------------

施策コード 安1-2	施策名 道路・交通の整備	施策目標 道路・交通を整備し、市民の日常生活における利便性、安全性の向上をめざします。
---------------	-----------------	--

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	事業内容・実施方法等	
	事業開始時期	24 年度

市道が交差する4m以上の見通しの悪い交差点を改良することにより、交通事故の発生を防ぎ安全性の向上を図る。

事業内容・実施方法等  
交差点部分の視界を遮っているブロック塀等を撤去し、見通しの良好なフェンスへの取替え等の工事を実施するものである。平成22年度に關係する課と調整を行い、市内にある見通しが悪く危険な交差点を抽出した。平成23年度は、抽出した各交差点の現地調査を実施して改良等が必要な交差点の選定し、ブロック塀等の所有者との交渉を進める。平成24年度以降に、了承が得られた箇所から順に本工事を実施する予定である。

根拠法令等  
 法律  
 条例・規則  
 政令・省令  
 要綱・要領

実施形態  直営  委託  補助  その他 ( )

項目	単位	23年度	24年度	25年度	目標 25 年度
事業費(A)		0	1,000	1,000	2,000
財源内訳	千円				
国庫支出金・都支出金		0	0	0	0
地方債		0	0	0	0
その他 ( )		0	0	0	0
一般財源		0	1,000	1,000	2,000
所要人員(B)	人	0.2	0.2	0.2	0.4
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	1,633	1,633	1,633	3,266
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	1,633	2,633	2,633	5,266
単位当たりコスト(E)=(D)/(交差点改良実施数)	千円	0	1,317	1,317	1,317

活動等指標	単位	23年度	24年度	25年度	目標 25 年度
① 選定箇所数	箇所	0	2	2	4
②	箇所				
《指標の説明 など》					
成果指標	単位	23年度	24年度	25年度	目標 25 年度
一 交差点改良実施数	箇所	0	2	2	4
二 次	箇所				
《指標の説明 など》					
選定された見通しの悪い交差点で塀等の所有者の了承が得られた箇所から順に工事を進める。					

市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	学校関係者より見通しの悪い交差点の改良要望が寄せられている。一部の交差点にはカーブミラーを設置して、安全対策を講じている。	
事業実施上における制約や財源確保等	本事業は、土地所有者の理解と協力が必要条件となる。	
代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	代替・類似サービスはない。

事業コード 09-02-02	事務事業名 交差点の見通し改良事業	所管部課 都市整備部 道路建設課
-------------------	----------------------	------------------------

施策コード 安1-2	施策名 道路・交通の整備	施策目標 道路・交通を整備し、市民の日常生活における利便性、安全性の向上をめざします。
---------------	-----------------	--

【一次評価】

検証項目		ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業化する上での課題	
A	事業の優先度 (緊急性)	2	■ 事業化	近年、市道の見通しの悪い交差点内において、人や自転車等が通行時に衝突しそうな状況が増えているとの苦情がよせられている。 工事を実施することにより、交差点における事故を未然に防ぐとともに交通の安全性の向上が図られ、安心・安全なまちづくりの推進の観点から、重要な事業と考えている。 本事業を実施するためには、土地所有者の協力が必要となることから、事業の趣旨について十分な説明を行い、理解を得ていきたい。	
	事業の必要性	2			
	事業主体の妥当性	3			
B	直接のサービスの相手方	3	□ 実施を延期		
	事業内容等の適切さ	2			□ 抜本的見直し
	受益者負担の適切さ	3			□ 計画を中止
C	市民ニーズの把握	2			

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目		ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業化する上での課題	
A	事業の優先度 (緊急性)	2	■ 事業化	本事業は、「西東京市道路整備計画（平成19年3月）」に位置づけている事業であり、平成23年度は改良箇所の抽出及び選定等の事務を進めるとのことであるが、事業化に向けて以下の視点に留意する必要がある。 1. 土地所有者の理解・協力を得るためには、衝突・事故の統計などの客観的資料を提示することが重要なため、警察など関係機関との連携や調整を十分に図ること。 2. 交通事故予防の見地から、可能な限り短期での重点的かつ計画的な整備を検討すること。 3. 見通し改良工事を施工した場合、通行者などに本事業の周知を図り、事故予防意識を普及啓発できるよう、当該改良箇所への事業名を冠した小型プレート板等の掲出について検討すること。	
	事業の必要性	2			
	事業主体の妥当性	3			
B	直接のサービスの相手方	3	□ 実施を延期		
	事業内容等の適切さ	2			□ 抜本的見直し
	受益者負担の適切さ	3			□ 計画を中止
C	市民ニーズの把握	2			

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業化する上での課題等
<input type="checkbox"/> 事業化 <input checked="" type="checkbox"/> 実施を延期 <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 計画を中止	交差点における事故の未然防止や安全確保は重要であるが、この事業目的達成のための手段は、本事業で想定されている手法の他にも考えられる。 現段階においては、土地所有者の理解を得て事業を推進していける確証が乏しいことから、事業化を見送り、慎重な調整を継続するとともに、必要な場合には、実施手法の見直しについても検討されたい。